

富士見市防災環境カルテ

南畑第4町会

位置番号 30

・概況

南畑第4町会は、富士見市の南東部に位置し、西側は新河岸川の左岸沿いにある小高い所（自然堤防）の集落と、東側は水田地帯（氾濫地帯）と、志木市に接する小高い所（自然堤防）で形成されている。

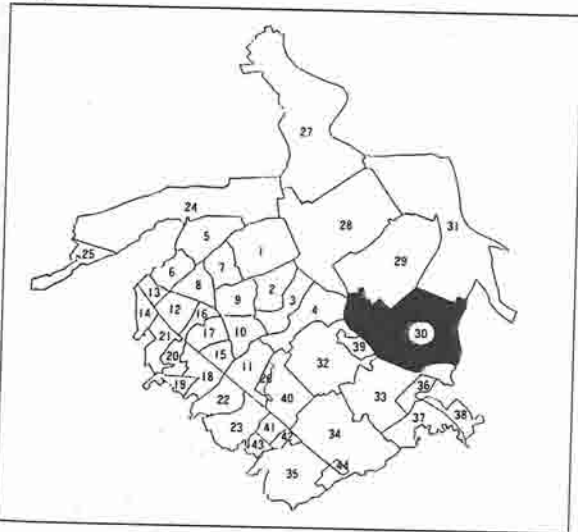
環境は、田圃に囲まれた良好な地域である。また富士見・川越有料道路が南東から北西に貫通している。

水害は、水害履歴から灌漑用水路、南畑排水路からの溢水のため、水田、畑の冠水と、新河岸川の越流のため、竹ノ内工業団地を中心とした地域の建物が浸水の被害を受ける災害が予想される。

水防施設は、竹ノ内遊水池が設けられている。

地震災害は、軟弱地盤のため、小高い所（自然堤防）の木造建物の倒壊、水田地帯で液状化による被害が予想される。

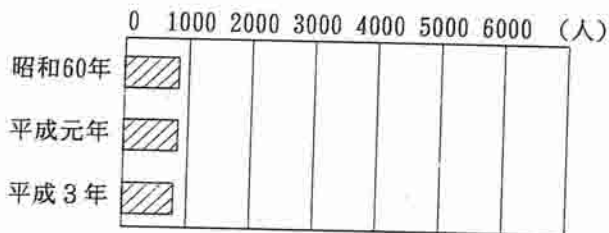
・位置図



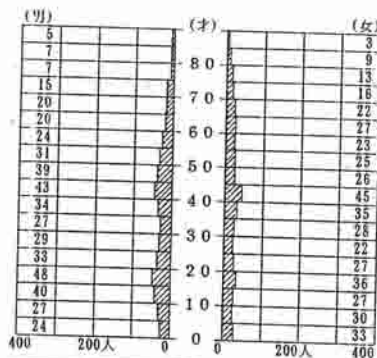
1. 基礎指標

・面積	1.410㎦
・人口(平成3年10月1日現在)	男 386人 女 337人 計 723人
・人口密度	512.8人/㎦
・寝たきり老人数	3人
・ひとり暮らし老人数	2人
・世帯数	197世帯

・人口推移

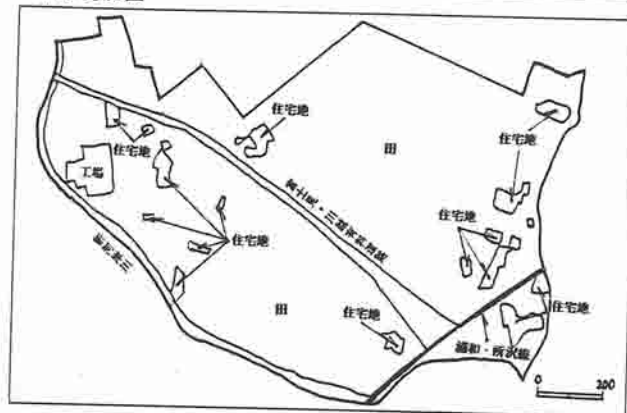


・年齢別人口(平成3年)

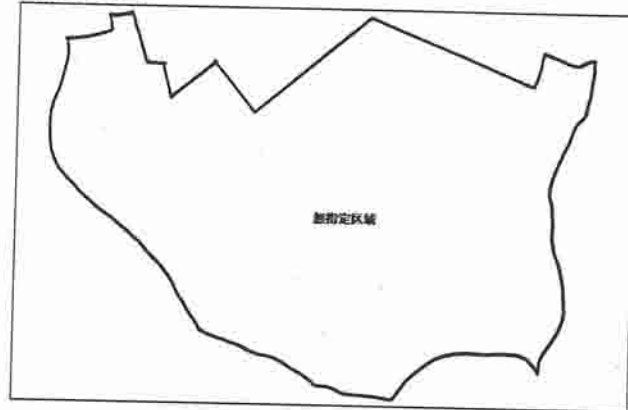


・商住工混在率(住居系)	87.6%
店舗系	1.1%
工業系	11.3%

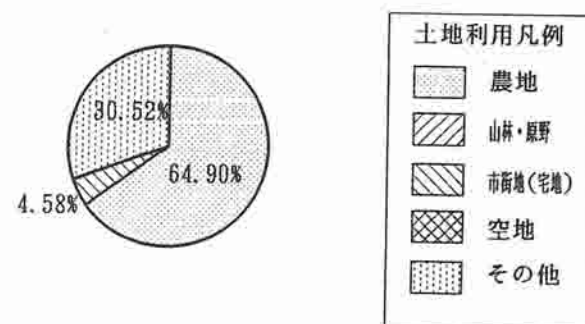
・町会現況図



・用途地域図



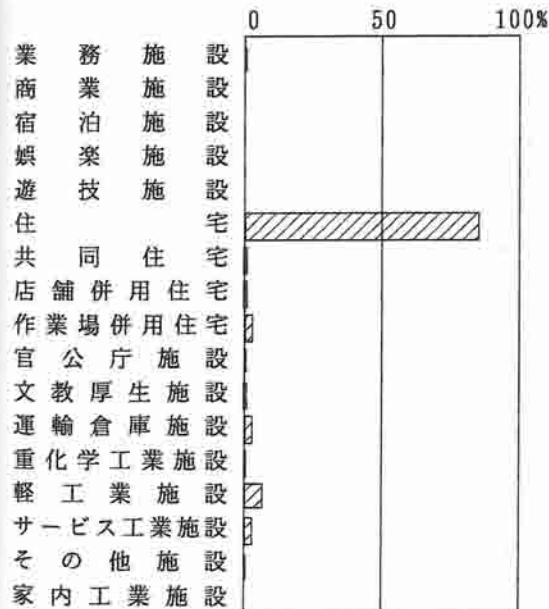
・土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	450棟
・木造建物	369棟
・非木造建物	81棟
・建物面積	30,297.66㎡
・木造建物	16,168.40㎡
・非木造建物	14,129.26㎡
※建物面積は1階の面積	
・住宅率	85.1%
・木造率	82% (369棟)
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	103棟
・同上率	0.4%
・建物階層別現況 (木造建物)	
1階	232棟 62.9%
2階以上	137棟 37.1%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	38本	27.0本/㎤
・幹線道路率	5本	3.5本/㎤
・公共空地面積		1,000.0㎡
・公共空地率		0.1%
・1人あたり公共空地		1.4㎡/人

・公共空地内容 (*指定避難所)

名称	面積
1. 高校	0㎡
2. 中学校	0㎡
3. 小学校	0㎡
4. 公園	0㎡
5. 竹ノ内公園	1,000.0㎡

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 所沢市、川越地区消防組合、 応援協定 新座市、志木市各消防本部
-------	--

・消火栓本数	11本
・1消火栓あたり世帯数	17.9世帯/本
・消防水利貯水施設数	4 (1) か所 () 内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	1か所
・一般取扱所	0か所
・(屋内)・(屋外)(タンク)貯蔵所	3か所
・地下タンク貯蔵所	1か所

6. 既往災害

家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和57年 9月(催18時)	0棟	1棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所

・崖崩れ被害 (年 ~ 年)	0件
・火災出火件数 (年 ~ 年)	0件

・1923関東大地震被害	
家屋全壊	0戸
家屋半壊	0戸
被害率	0%

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	1か所	三浦病院
医院	0か所	
休日診療所	0か所	
警察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	5か所	竹ノ内第一樋管 竹ノ内第二樋管 木染樋管 舞鶴樋管 竹ノ内遊水池

・自主防災組織(数)	0
・自主防災組織参加世帯率	0%
・飲用井戸本数	0本

8. 危険度評価

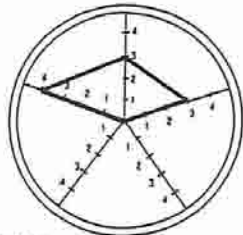
・内水災害危険度	3ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	3ランク
・木造建物出火危険度	0ランク
・木造建物延焼危険度	0ランク

地盤 危険度	地盤の地震動 危険度	4ランク
危険度	液状化 危険度	4ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4

内水災害危険度



液状化危険度

木造建物被害危険度

木造建物延焼危険度

木造建物出火危険度

9. 地盤条件

地盤は、10～30mの沖積層の軟弱地盤のため、小高い所（自然堤防）にある集落で震度6（-）（烈震の弱い方）、水田地帯（氾濫平野）で震度6（+）（烈震の強い方）の地震が予想される。

10. 問題点の整理

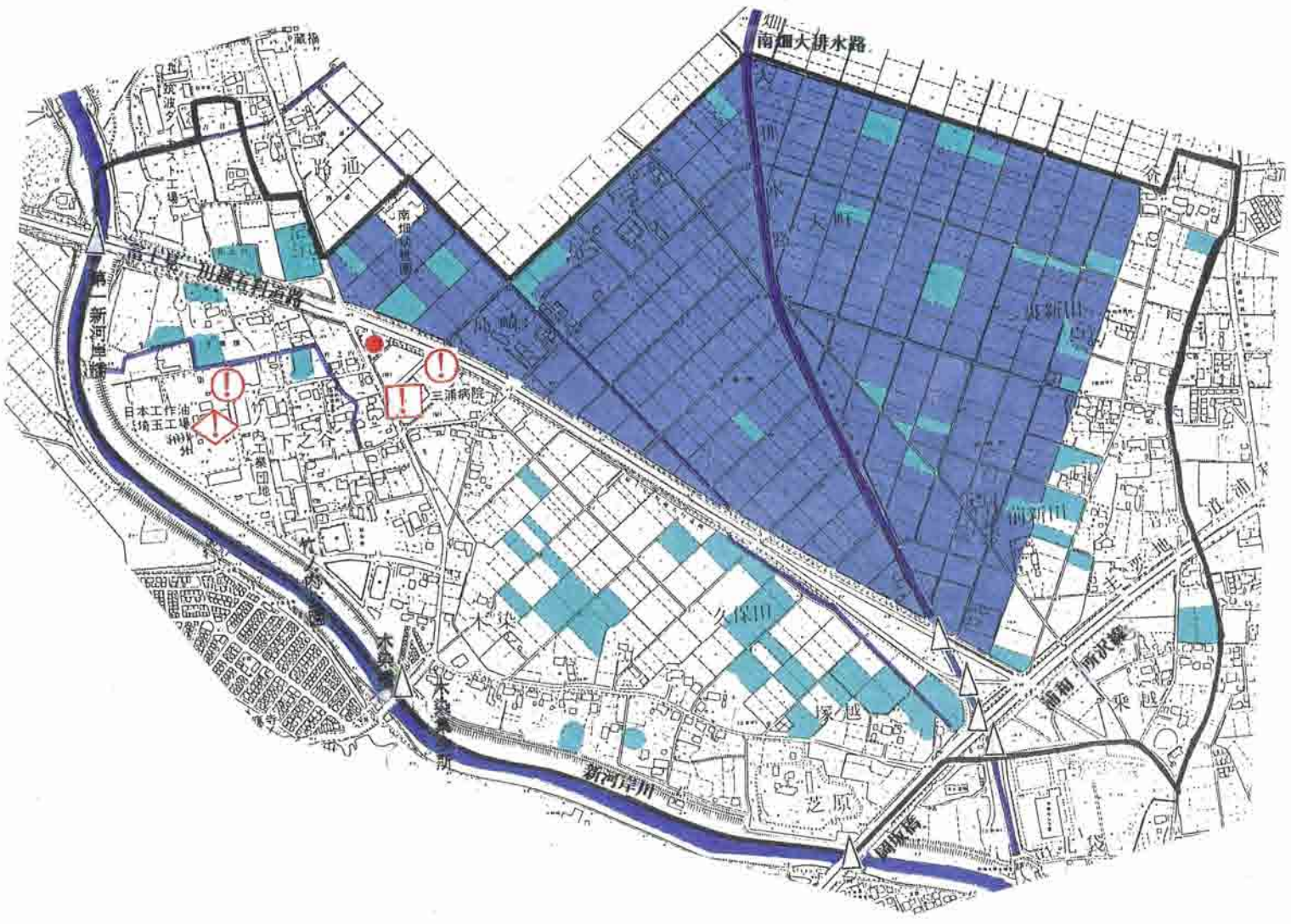
災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	灌漑用水路、南畑大排水路からの溢水。	1. 水防能力	水防施設は、竹ノ内遊水池、竹ノ内第一樋管、竹ノ内第二樋管、木染樋管、舞鶴樋管が設けられている。
2. 外水災害	少ないが、新河岸川の溢水する危険性がある。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が悪いため、木造の倒壊に注意を要する。	3. 消防能力	消火栓、消防水利貯水施設は十分と思われる。
4. 出火危険	出火の危険性は低いとみてよい。	4. 防火能力	竹ノ内工業団地を中心とした工場地帯の建物は、不燃化が促進されている。しかし、集落の木造家屋の防火能力は低い。
5. 延焼危険	不燃領域率が100%と高いため延焼の危険性はない。	5. 避難収容力	指定避難所は、町会内にないため、南畑第3町会内の興禅寺、氷川神社を利用する。1人あたりの公共空地は1.4㎡/人と見込まれる。
6. その他の災害	地盤条件が悪いため、水田地帯で液状化の被害が予想される。		

11. 解決の方向性

内水災害の予防対策として、竹ノ内遊水池が設けられているが、この外の遊水池等の水防施設の設置が望ましい。地震災害は、水田作業以外の用途で使用している建物に対しては建物のまわりの地中に連続壁や矢板などを設けて、液状化から建物の被害を防ぐ液状化対策が望まれる。避難可能な道路沿いにある自動販売機の転倒、ブロック塀の倒壊防止対策指導を行い、災害時にこれら転倒物、倒壊物による道路の狭隘化を予防することが必要である。

※ 想定震度 6（+）（烈震（強））

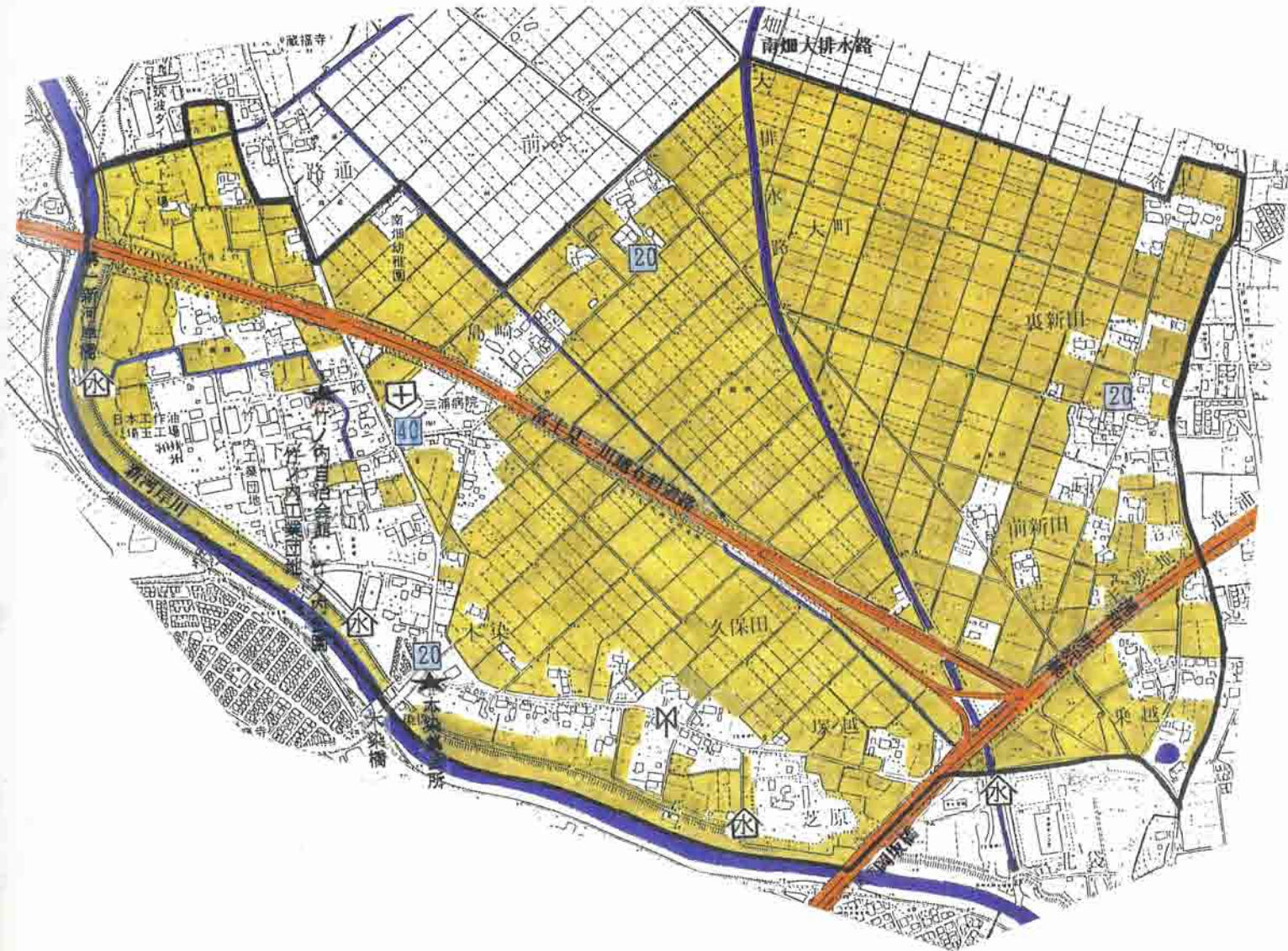
防災現況図 A (災害発生要因)



凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋 梁
▽	横 断 歩 道 橋
△	立 体 交 差
□	木造家屋密集地域
—	河 川 ・ 水 面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
■	盛 土
□	浅い谷・低地(谷底平野)
既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水防施設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ集会所
	保健所・保健センター
	病院
	診療所
	休日診療所
	指定避難所
	公園
	河川・水面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学校(小・中・高)
	空地・水田・畑

